

○盂蘭盆会に参加した生徒の感想



3年 T.Iさん

本日はご講話いただきありがとうございました。

日本でお盆は迎え火や送り火、精霊馬や精霊牛でご先祖様をもてなすという習慣として根付いていると思います。私の家はマンションなので、迎え火や送り火は行っていません。精霊馬や精霊牛はきゅうりとなすで作って仏壇の近くに置いていますが、私が何かすることはありません。近年では、ご先祖様を敬うという習慣自体が薄れてきているため、お盆を行う習慣も薄れてきているのだと思いました。

また、ハロウィンが元々はお盆のような行事であることは知りませんでした。元々のハロウィンで、先祖の霊と共にやってくる悪霊を仮装して驚かせようとしたことの「仮装」だけが、楽しめるような行事が欲しいという民衆の意識から一人歩きして伝わってきたのだらうと思いました。

思いを形にすることは、とても大変だと思っています。言葉にする、文字にする、行動する、様々な形に表すことができます。いずれの形に表すにしても、自分の思いを理解しなければなりません。理解して形にするというのは、難しく大変なものであると今まで感じてきましたし、これからもずっと悩むのであろうと思いました。

3年 M.Hさん

今回はお忙しい中、講話をしてくださりありがとうございました。

お盆は生まれた頃から身近にある行事の一つで、小さい頃は意味も分からないまま過ごしていました。意味を理解して参加し始めたのは中学生頃でしたが、自分にとっては全く知らない人たちであり関わりがなかったので、ただ親について行くだけという感覚でした。その頃、「リメンバー・ミー」というディズニー映画が公開され、私も見ました。「リメンバー・ミー」は、亡くなってしまった先祖たちを迎えるというメキシコの風習をもとに描かれていて、日本でいうお盆と共通した部分があります。私は初めてこの映画を見た時、とても家族愛に溢れた最高の映画だと思いました。それからは、お盆にも意味があることを理解し、先祖がいたからこそ今の自分がいるんだと思うようになり、今ではとても感謝しています。ご先祖様に直接「ありがとう」という言葉を伝えることはできませんが、少しでも気持ちが伝わるといいなと思っています。そして、今も生きている祖父母や父母、兄弟には日頃からたくさん「ありがとう」と伝えたいと思っています。今回は本当にありがとうございました。

3年 S.Rさん

本日は貴重な法話をしてくださりありがとうございました。

法話の中で、迎え火と送り火という言葉が出てきてとても懐かしく感じました。私の祖母の家では毎年、家の前で迎え火と送り火を行っています。幼少期は火を起こす手伝いや準備をしていたのですが、最近では祖母の家に行く機会も減り、お盆に顔を出しに行っても仏壇にお線香をあげるだけになっていました。しかし、今日の法話を聞き、一度も会ったことのない祖父がどのような人だったのか、幼少期に祖母に聞いた事を思い出しました。また、忙しいという理由で手伝いに行けていなかったため、祖先を思う心を持ち、それを大切にしてお盆の手伝いをしに祖母の家に行きたいなと思いました。